

札幌市子育てに関する実態・意識調査 (次世代育成支援に関するニーズ調査)

結果報告書(抜粋)

【調査概要】

調査対象

就学前児童調査：平成21年1月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出した就学前児童の保護者10,000人

小学校児童調査：平成21年1月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出した小学校児童(1年生～3年生)の保護者5,000人

実施時期：平成21年2月9日～2月28日

有効回答数

就学前児童調査：4,932人(有効回答率49.3%)

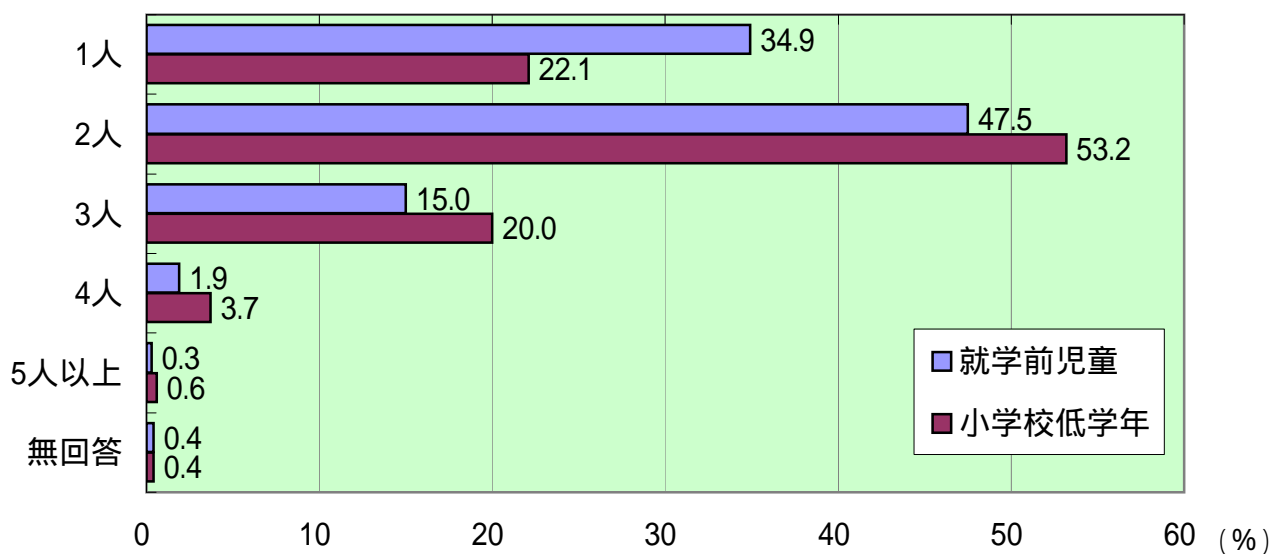
小学校児童調査：2,463人(有効回答率49.3%)

調査方法

就学前児童調査：郵送法/設問数64問

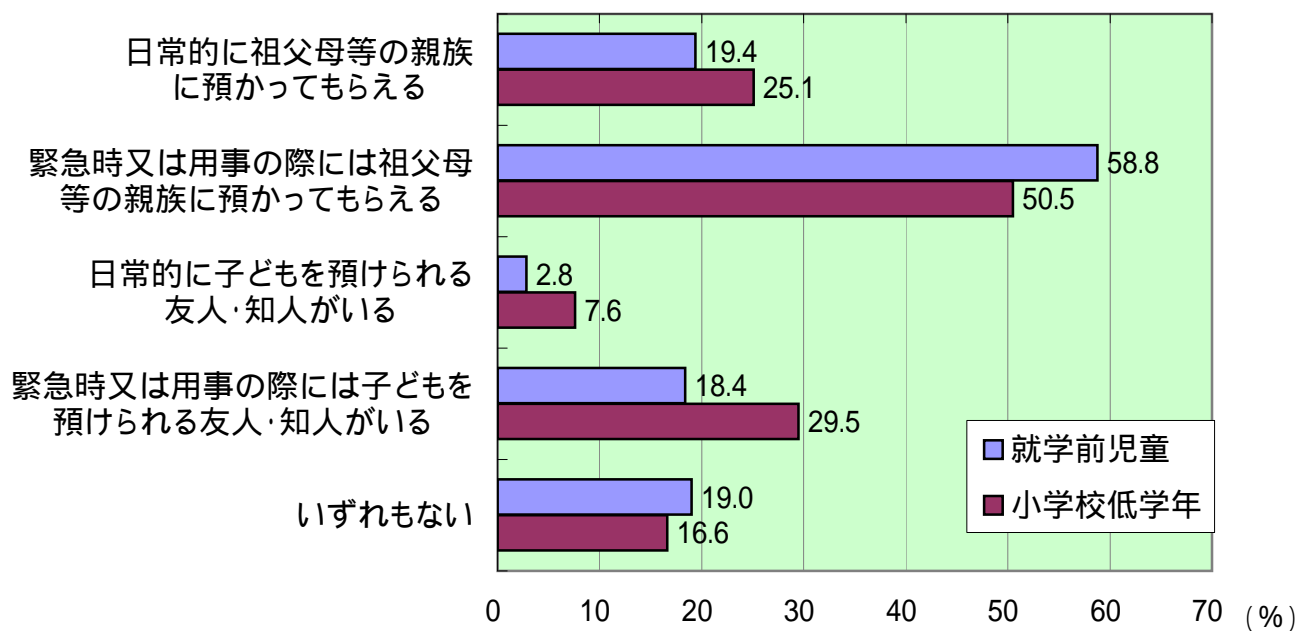
小学校児童調査：郵送法/設問数48問

お子さんは何人いますか？

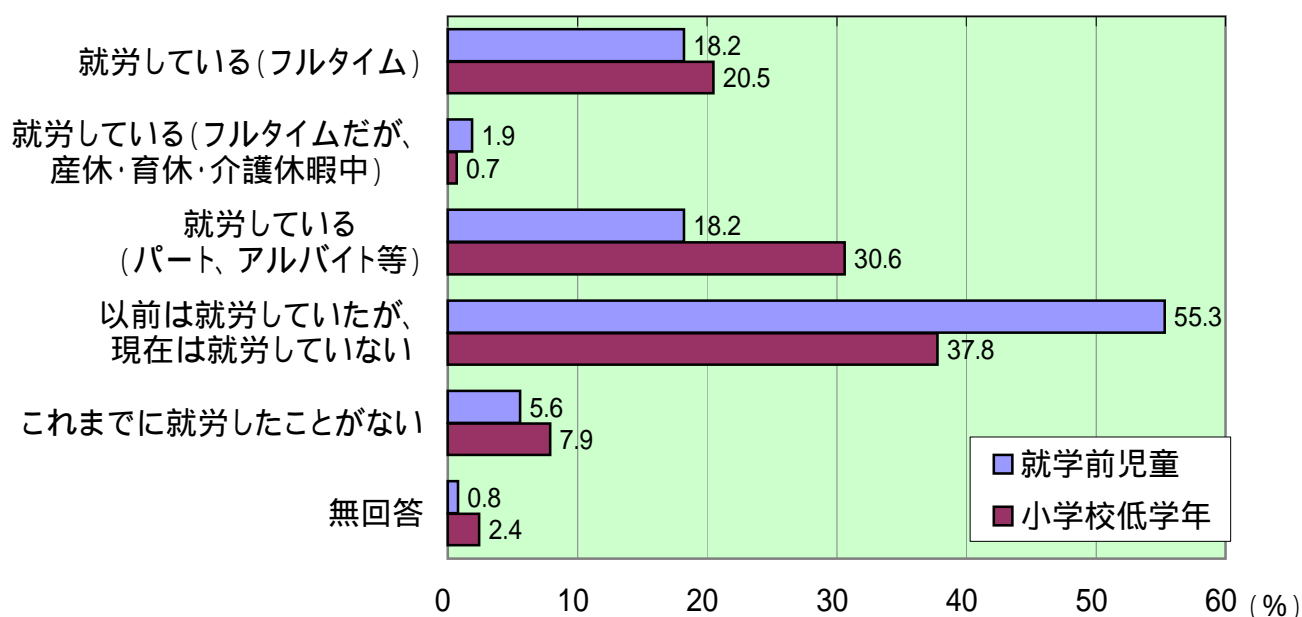


日ごろ、お子さんを預かってもらえる人はいますか？

(複数回答)

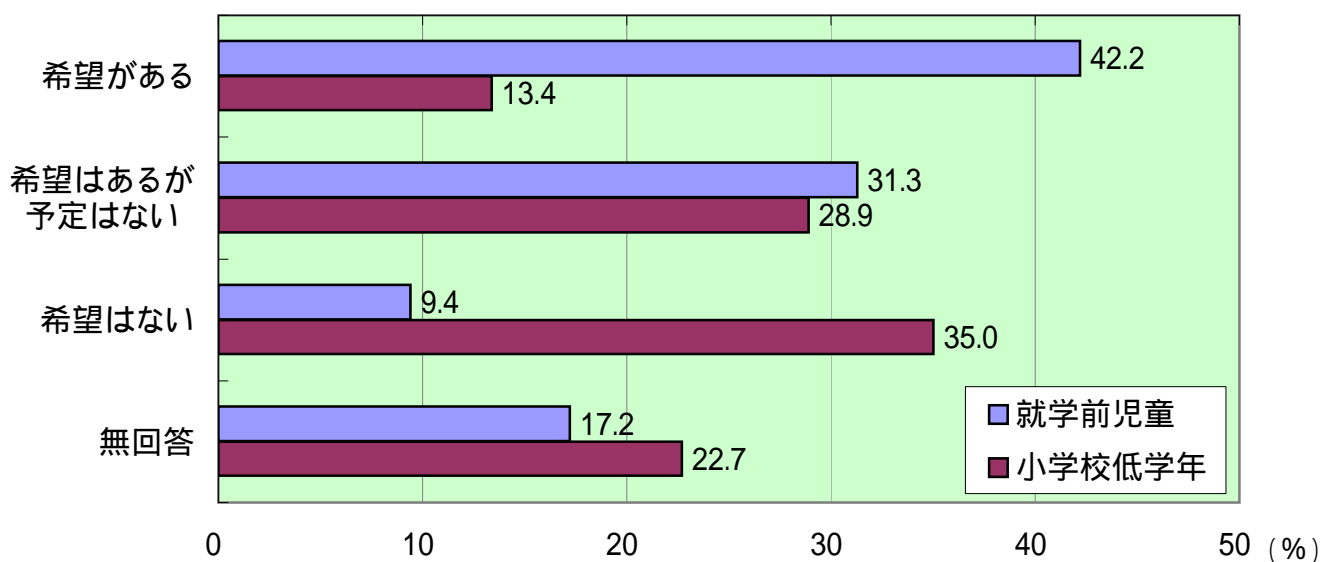


母親の就労状況



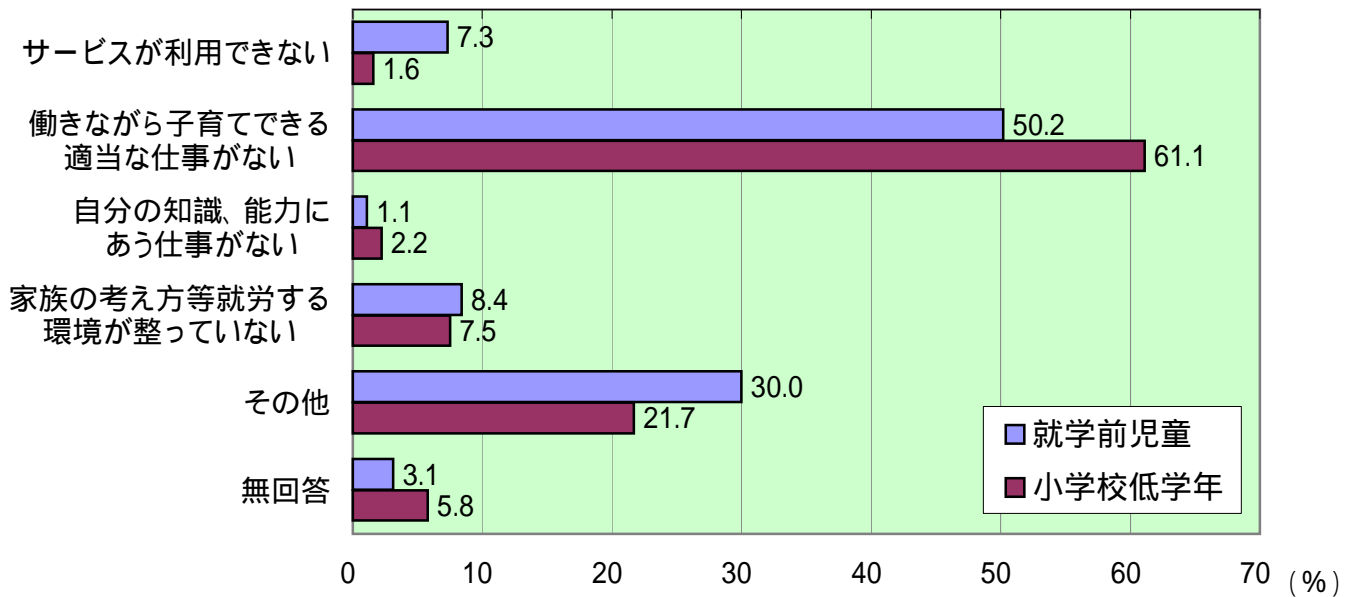
「就労している(フルタイム)」、「就労している(フルタイムだが、産休・育休・介護休暇中)」、「就労している(パート、アルバイト等)」の合計は、就学前の子どもの保護者が38.3%、小学校低学年の子どもの保護者で51.8%となっている。

フルタイムへの転換希望がありますか？(母親がパート・アルバイト)



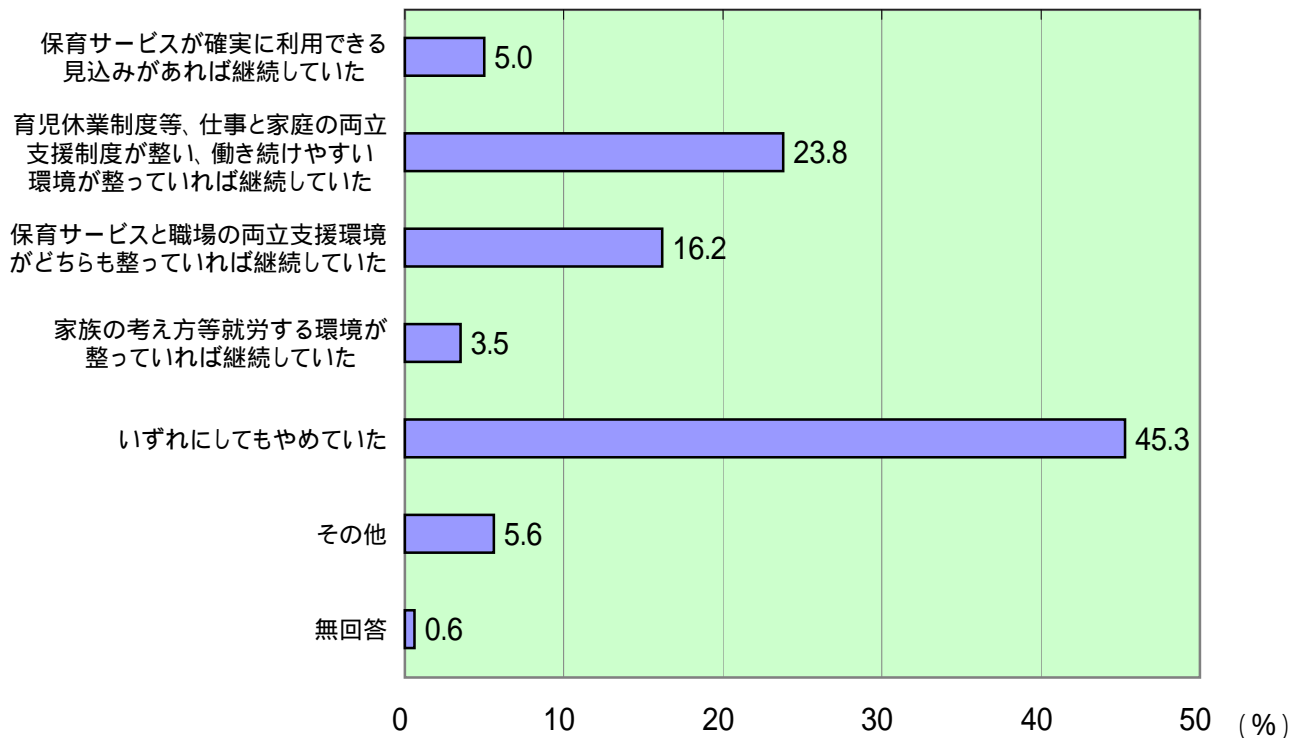
「希望がある」、「希望はあるが予定はない」の合計は、就学前の子どもの保護者で73.5%、小学校低学年の子どもの保護者で42.3%となっている。

現在、働いていない理由は何ですか？（母親が就労希望あり）



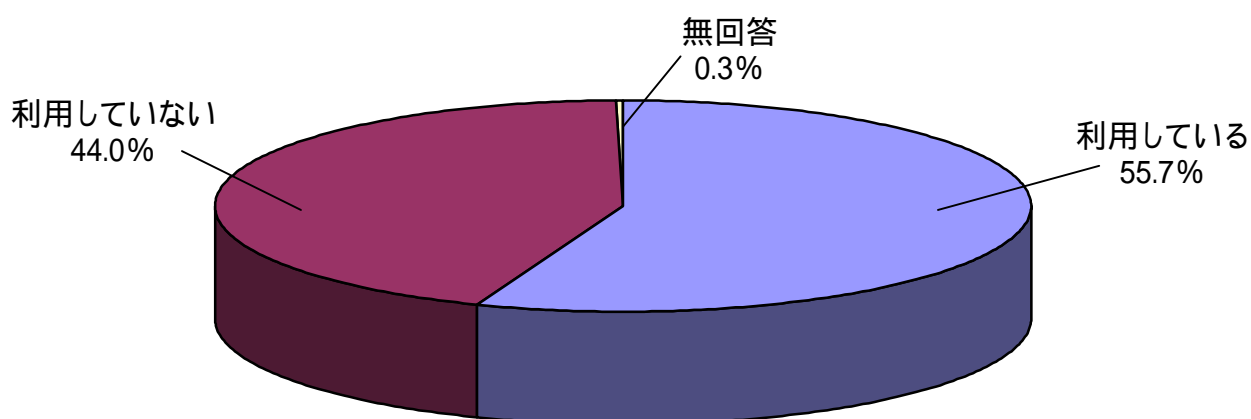
就学前・小学校低学年の子どもの保護者とも半数以上が「働きながら子育てできる適当な仕事がない」と回答していることから、ワーク・ライフ・バランスの取組促進が求められている。

仕事と家庭の両立を支援するサービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか？（出産前後1年以内に離職した母親への質問）

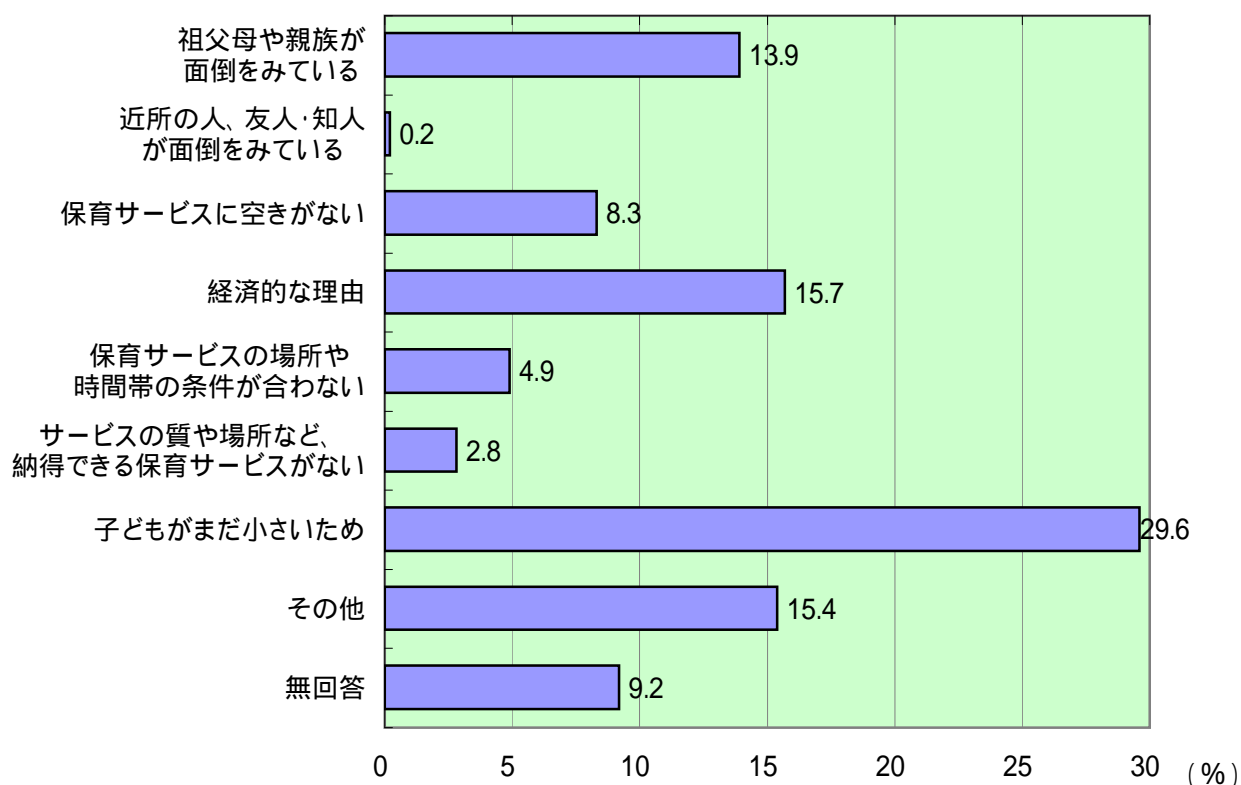


「育児休業制度等、仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば就労を継続した」が23.8%となっており、ワーク・ライフ・バランスの取組促進が求められている。

現在、定期的な保育サービスを利用していますか？

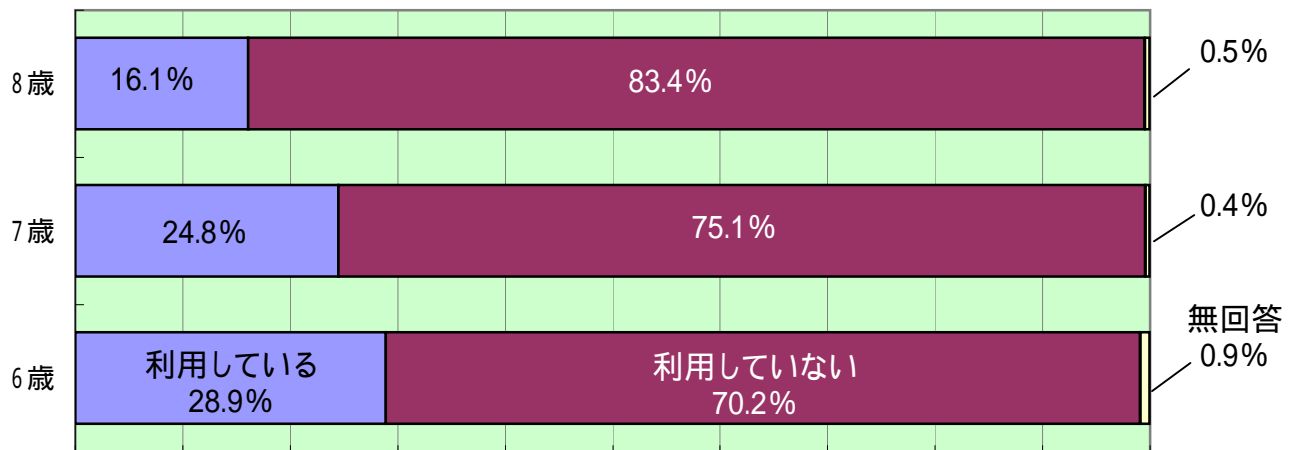


定期的な保育サービスを利用していない理由何ですか？（両親のどちらかが働いていないなどの理由で保育サービスが必要ないと回答した人を除く）



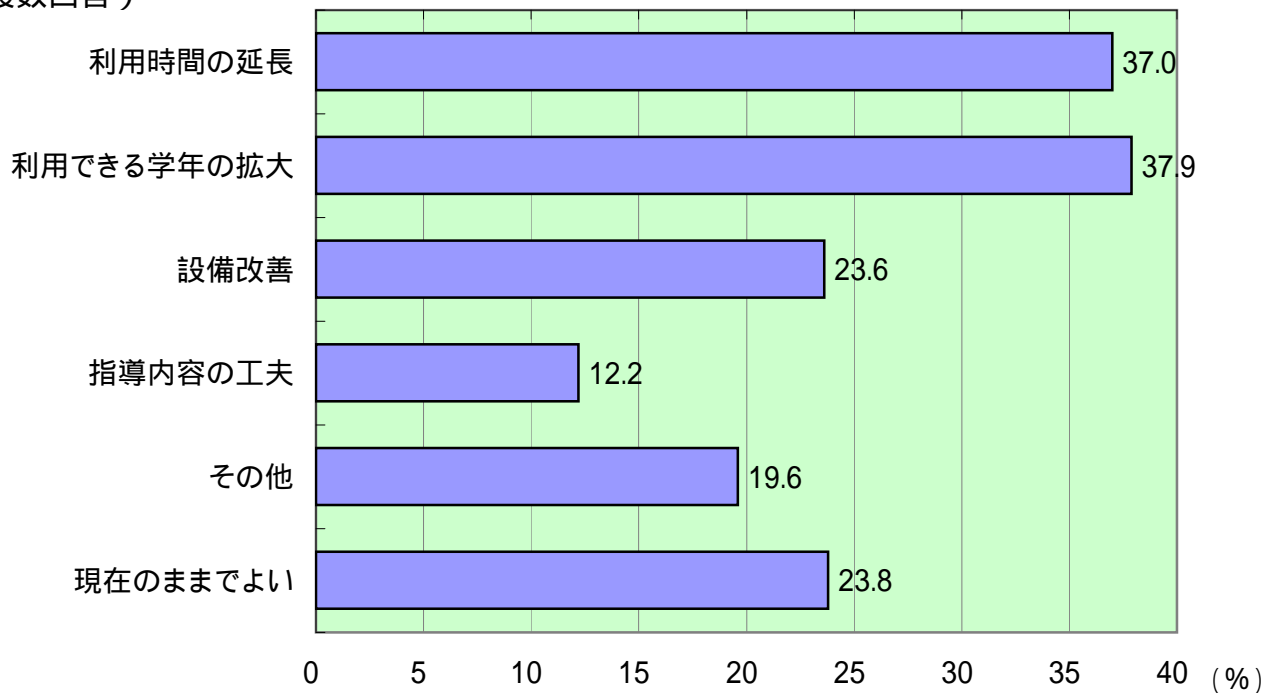
「保育サービスに空きがない」、「保育サービスの場所や時間帯の条件が合わない」の合計が13.2%となっており、保育所及び多様な保育ニーズに対応する体制の整備が求められている。

放課後児童クラブを利用していますか？

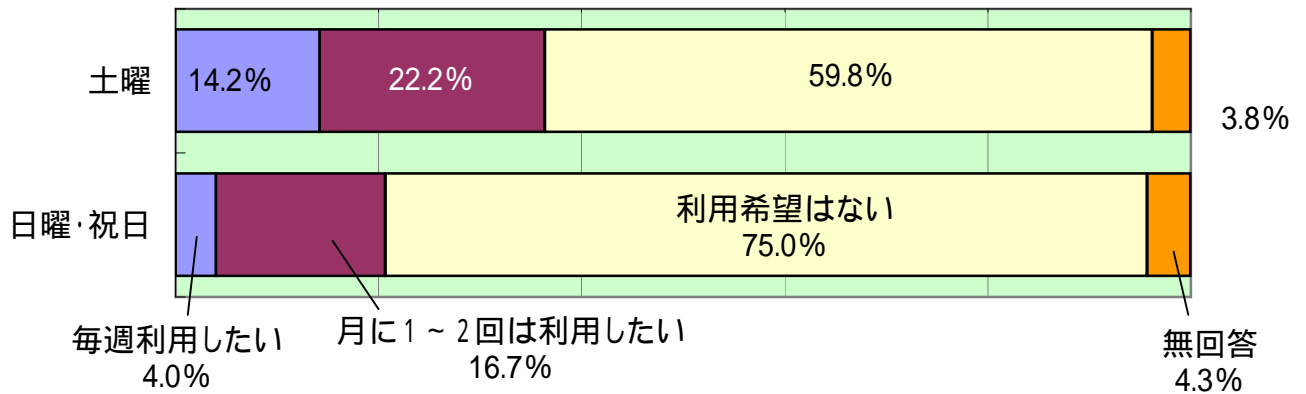


放課後児童クラブに対してどのような要望をお持ちですか？

(複数回答)



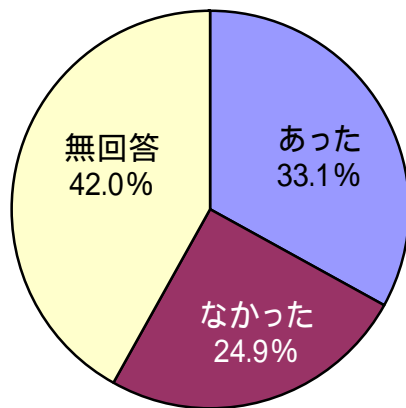
土曜と日曜・祝日に保育サービスの利用希望はありますか？



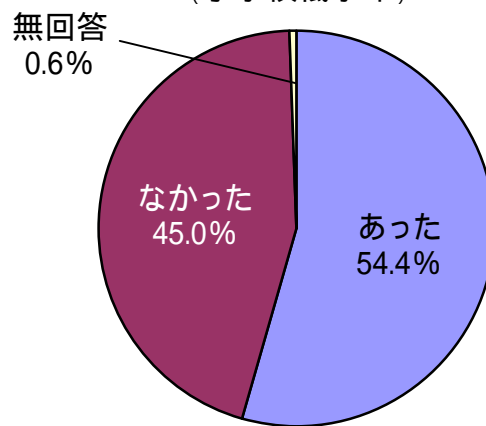
「毎週利用したい」、「月に1~2回は利用したい」の合計は、土曜で36.4%、日曜・祝日で20.7%となっており、土曜及び休日保育の要望が高い。

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常利用している保育サービスが利用できなかったこと、学校を休まなければならなかったことがありましたか？

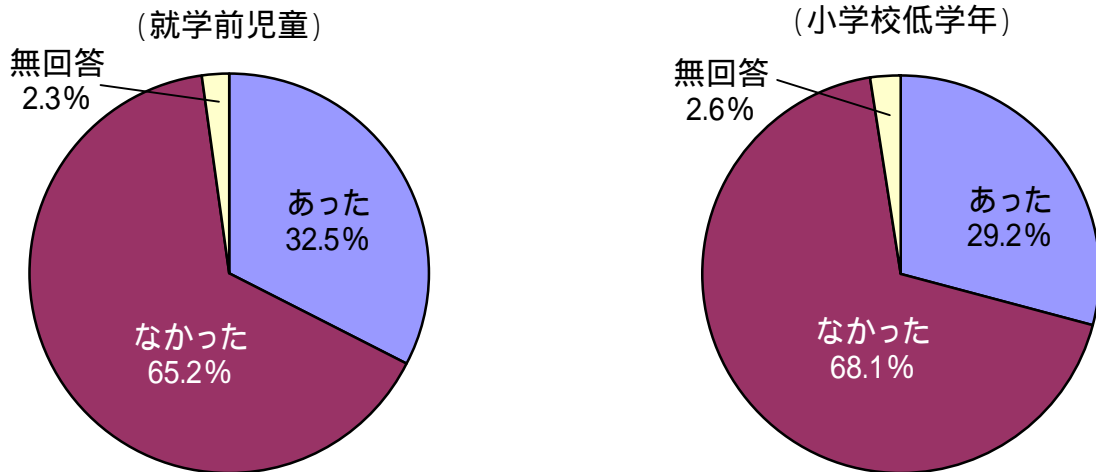
(就学前児童)



(小学校低学年)

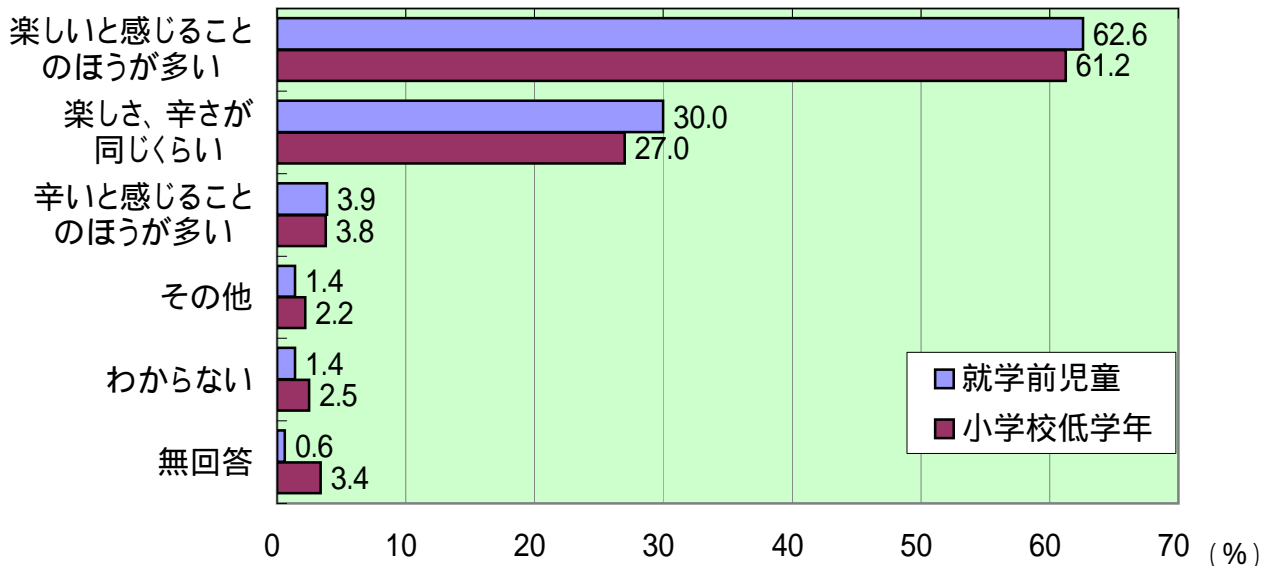


この1年間で、私用・リフレッシュ目的・冠婚葬祭・就労等のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか？



一時的に預けた理由としては、就学前・小学校低学年の子どもの保護者とも「私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的」が一番高く、それぞれ74.1%、63.5%となっている。次いで高かったのは、就学前の子どもの保護者は「冠婚葬祭や親の病気」で35.5%、小学校低学年の子どもの保護者は「就労」で41.1%となっている。

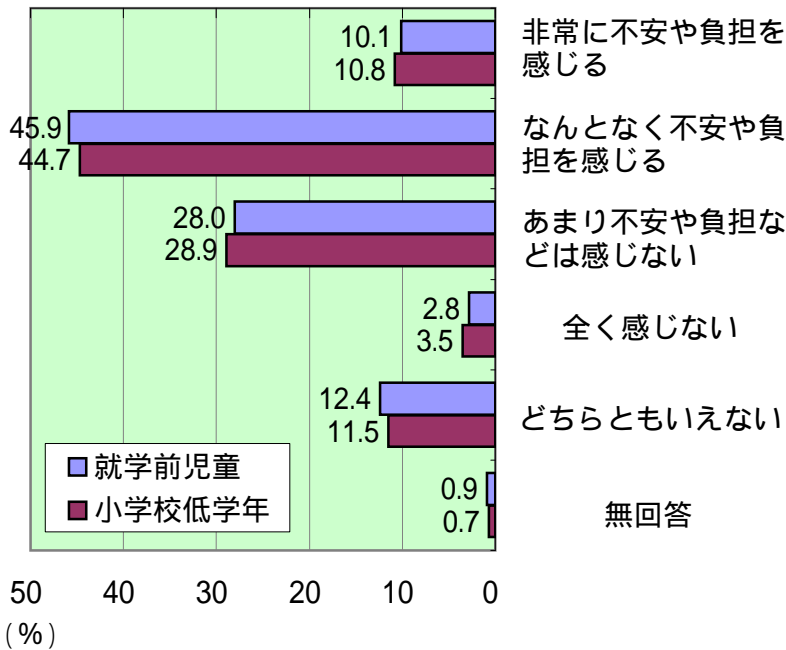
子育てを楽しんでいると感じることが多いですか？



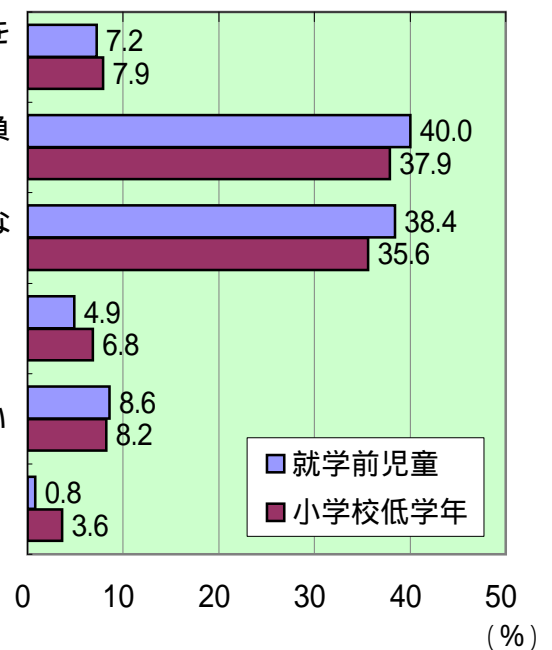
「辛いと感じることが多い」と回答したのは、就学前・小学校低学年の子どもの保護者とも4%弱となっており、8割以上の保護者は、「楽しいと感じることが多い」または「楽しさ、辛さが同じくらい」と回答している。

子育てに関して不安や負担などを感じていますか？

平成15年度調査

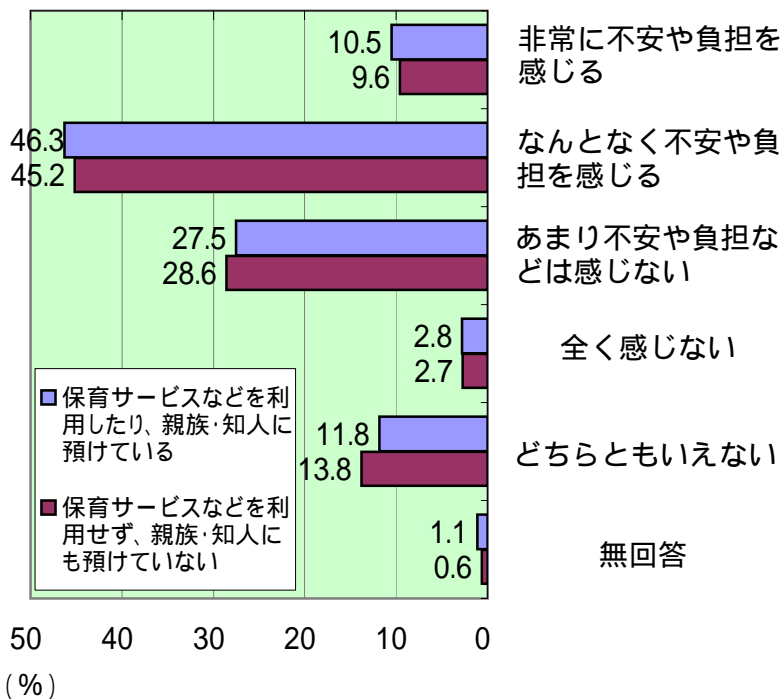


平成20年度調査

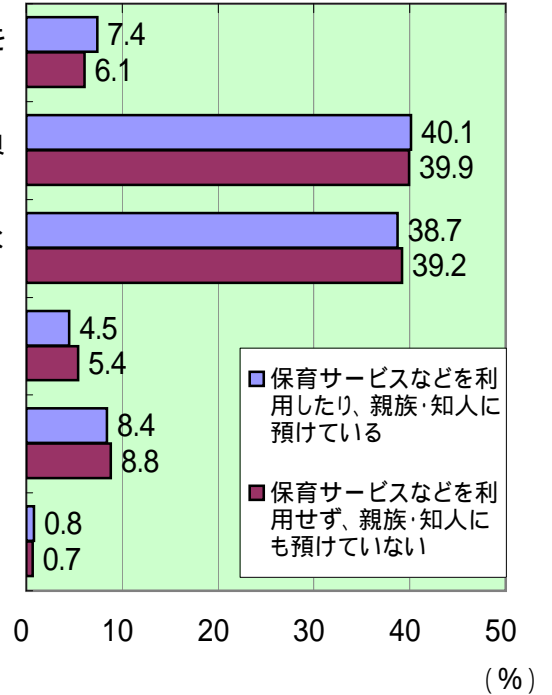


【就学前児童の保育サービス等の利用の有無別】

平成15年度調査



平成20年度調査



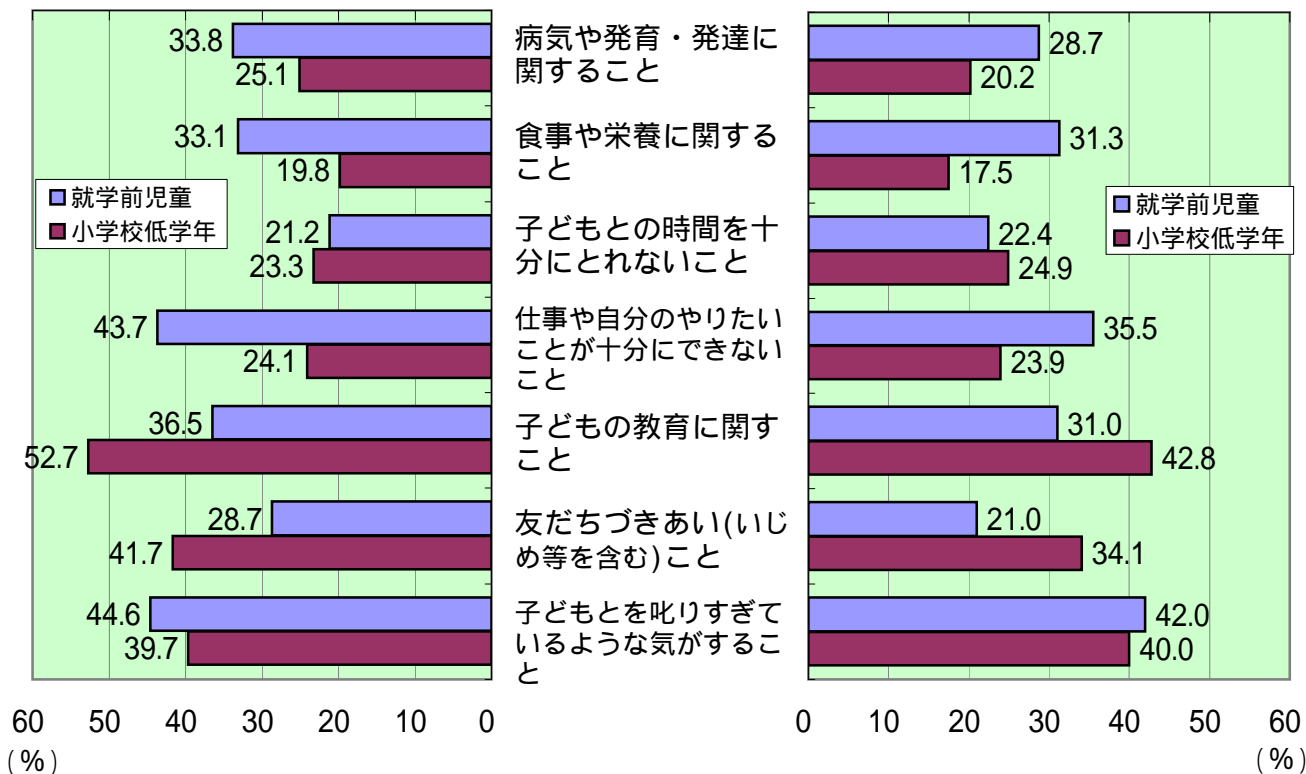
「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」の合計は、15年調査時と比較し、就学前の子どもの保護者で9.3ポイント減(56.8 47.5)、小学校低学年の子どもの保護者で8.8ポイント減(54.8 46.0)となっている。

子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか？

(複数回答)

平成15年度調査

平成20年度調査



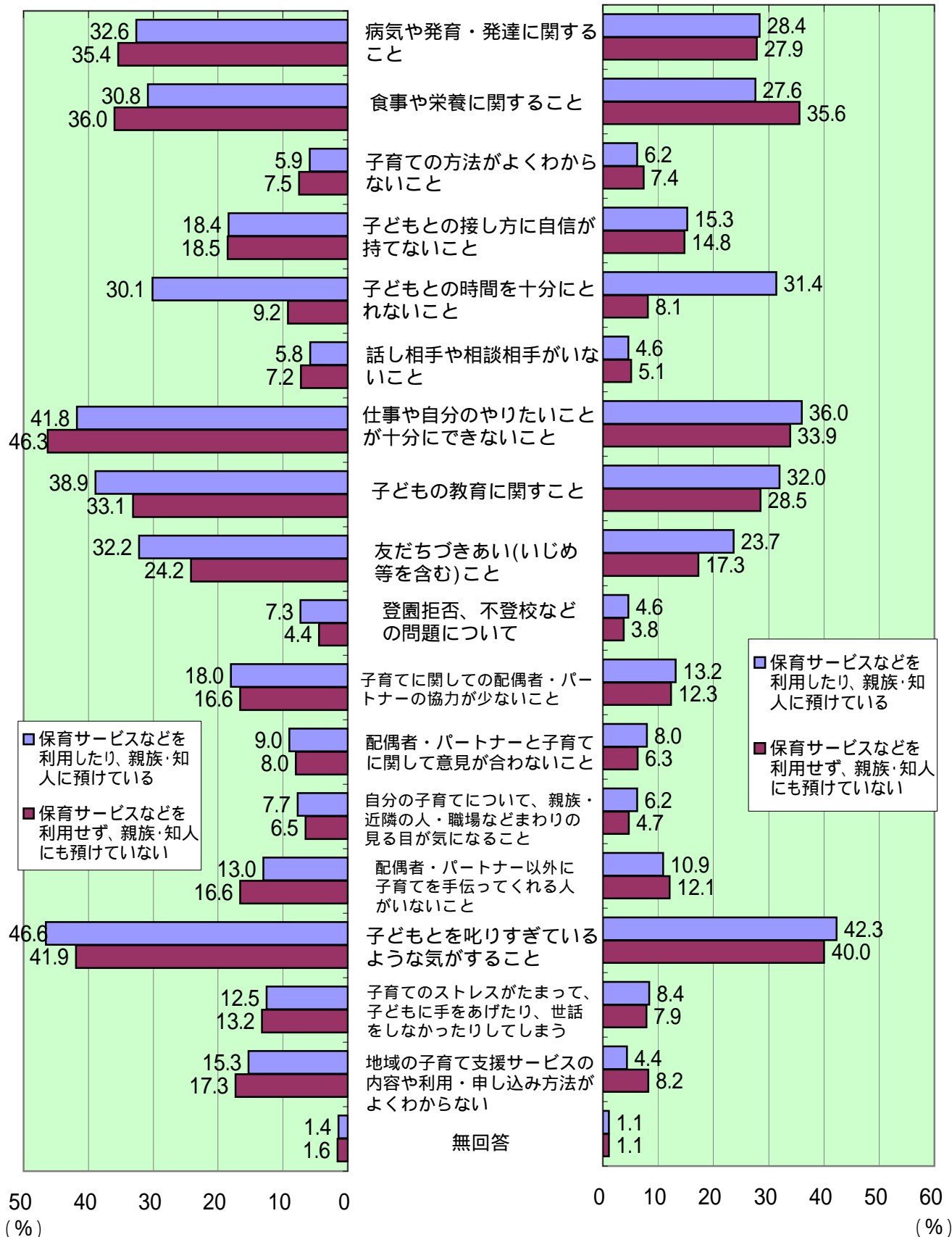
15年調査時と比較し、ほぼすべての項目で割合が低下しているが、「子どもとの時間を十分にとれないこと」については、就学前・小学校低学年の子ども保護者とも微増している。

子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか？

(複数回答) 【就学前児童の保育サービス等の利用の有無別】

平成15年度調査

平成20年度調査

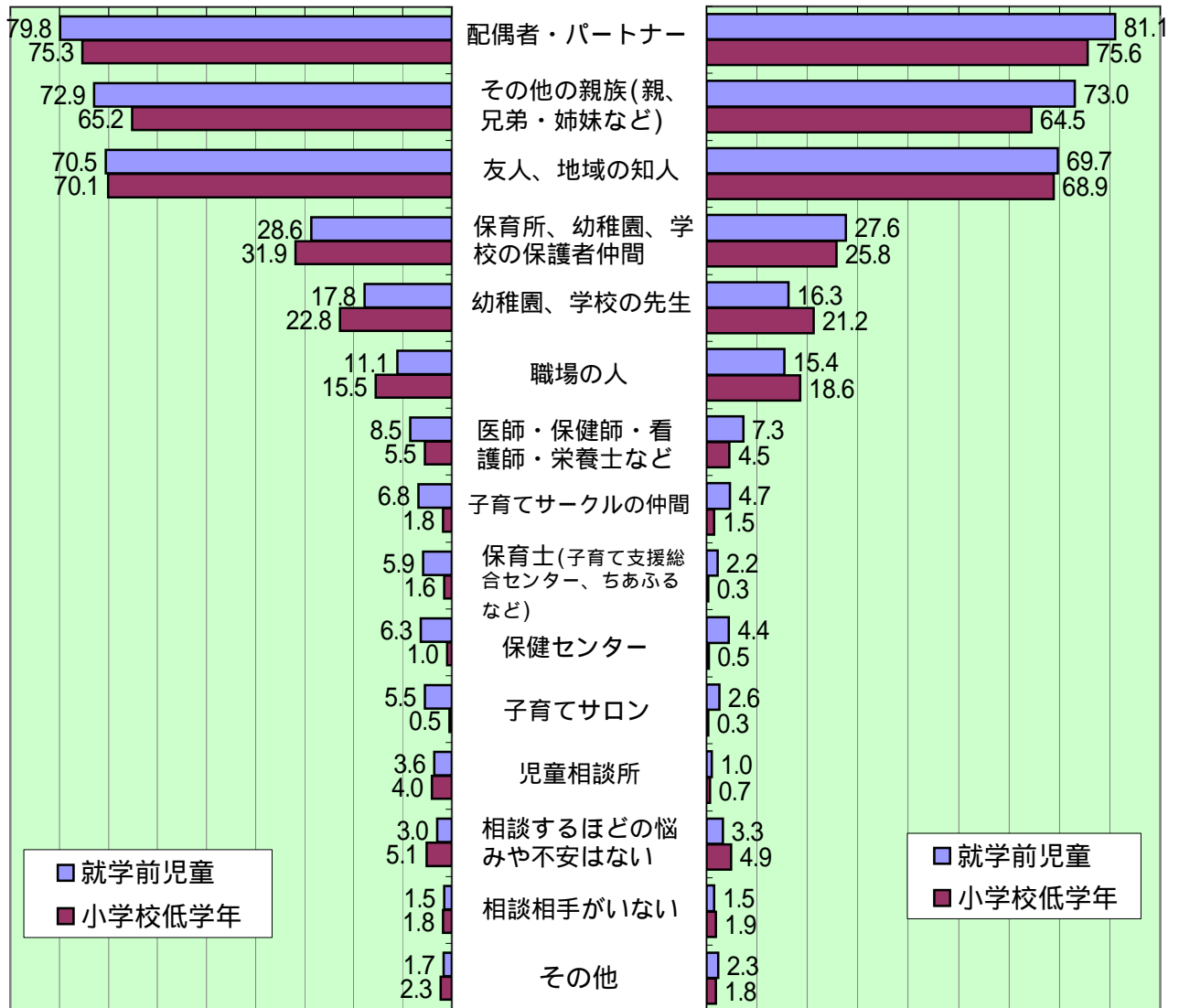


身近な地域で、子育てに関する悩みや不安をどなた（どこ）に相談していますか？

（複数回答）

平成15年度調査

平成20年度調査



90 80 70 60 50 40 30 20 10 0 (%)

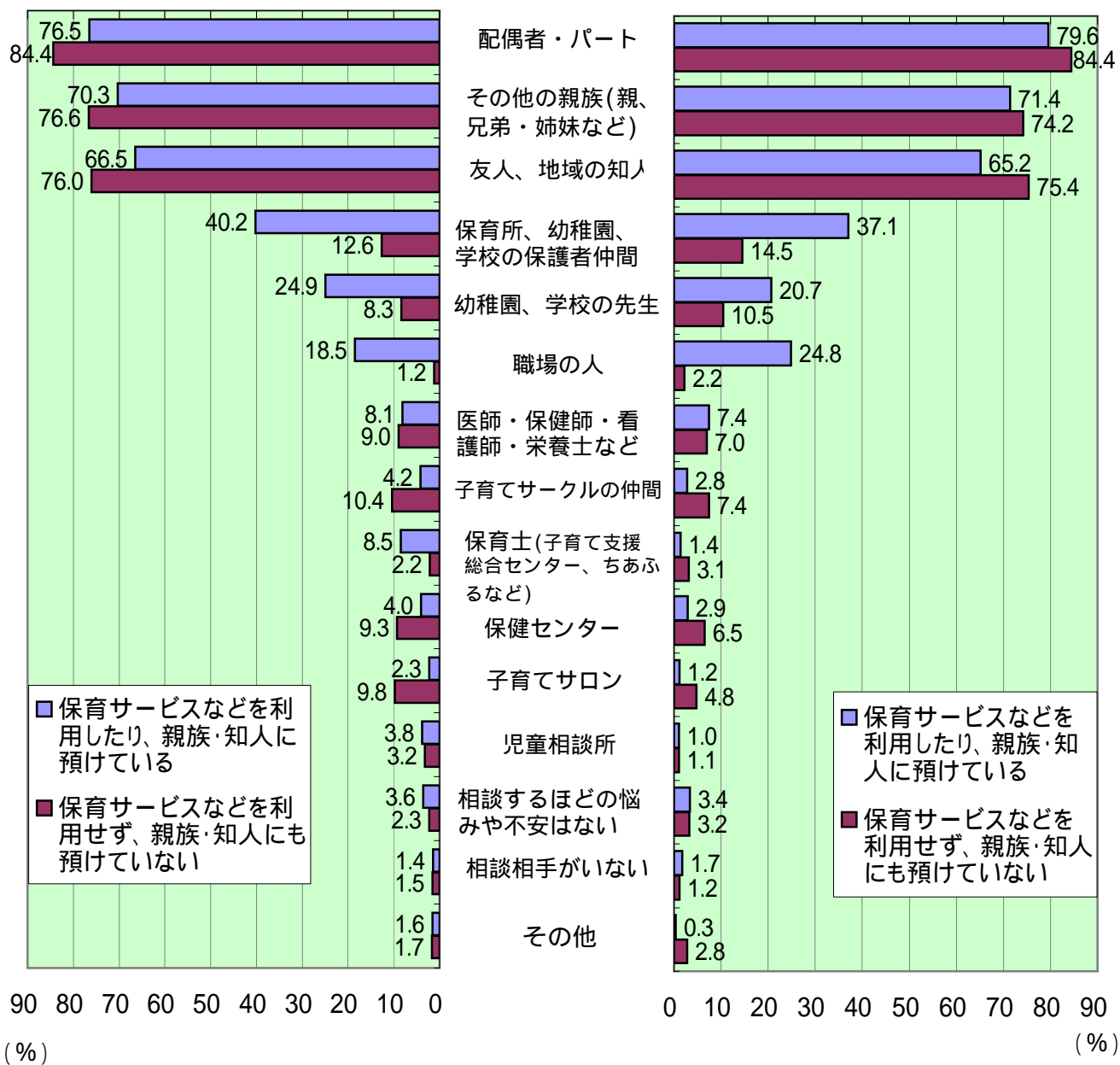
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 (%)

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安をどなた（どこ）に相談していますか？

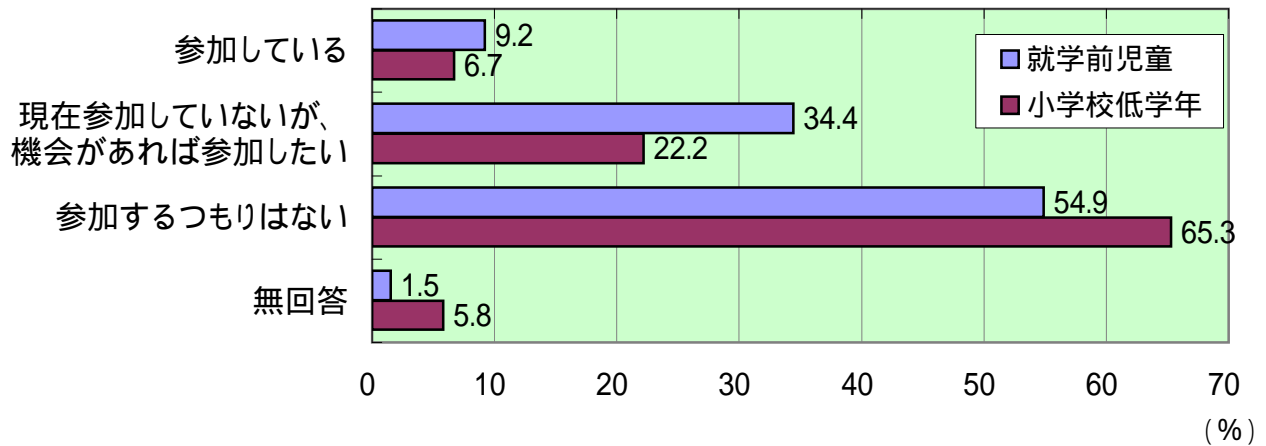
（複数回答） 【就学前児童の保育サービス等の利用の有無別】

平成15年度調査

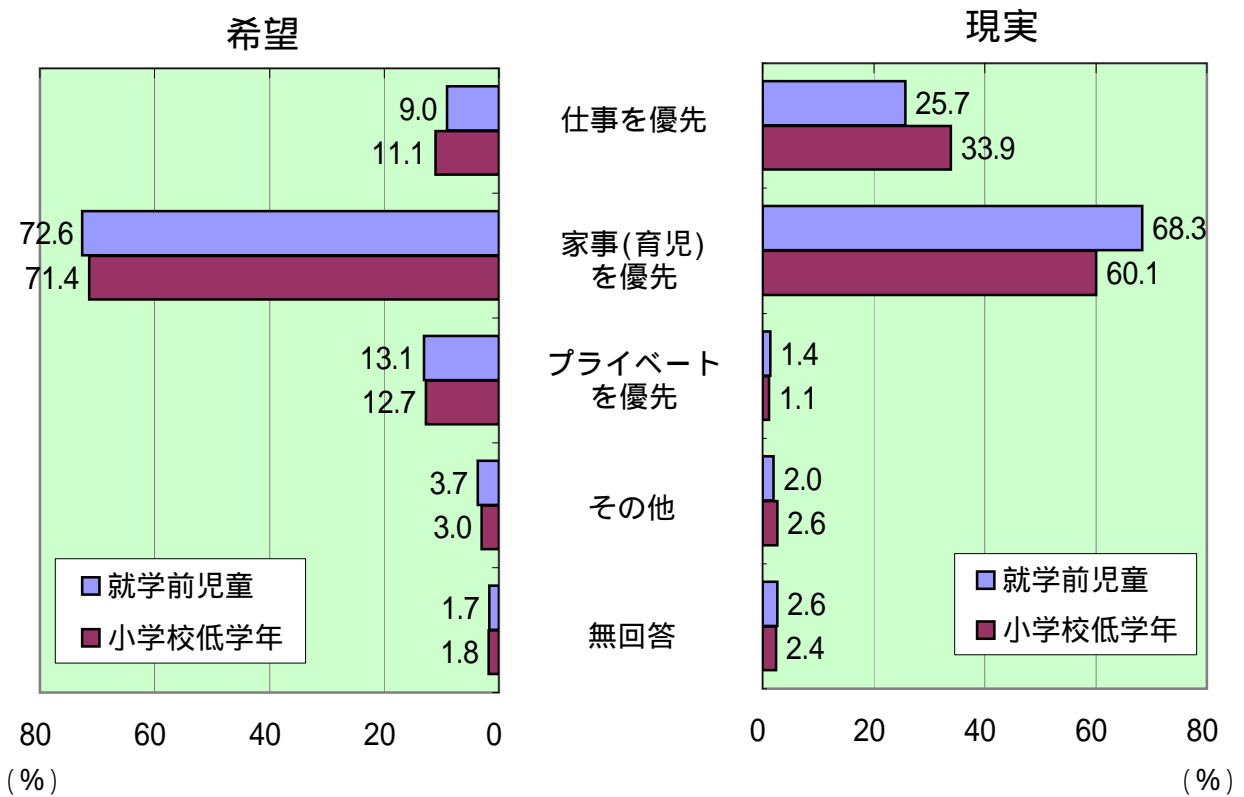
平成20年度調査



子育てに関するサークルなどの自主的な活動に参加していますか？



あなたの生活の中で、「仕事」と「家事（育児）」・プライベート」の優先度は？



子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が望ましいと思いますか？

(複数回答)

